



吉田地区 住民自治協議会だより

44号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義 編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会
事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの2階 TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371

令和2年度
令和3年度

吉田地区成人式

令和4年1月9日

令和2年度成人



本日は、私たちの為にこのような式典を催していただき、また皆様より温かいお祝いの言葉をいただき、心からお礼申し上げます。

今日のこの日、成人式を迎えられましたのもここまで成長を見守ってくださった先生方や、地域の皆様、そしてどんな日も支えてくれた家族の皆様のおかげであることを深く感謝申し上げます。

我々の世代は、新型コロナウイルスという歴史的パンデミックの状況下で成人を迎え一年が経ちました。社会人としてすでに活躍している仲間もいれば、目標のため勉学に励んでいる仲間もいます。新型コロナウイルスによる混乱は、今般の第六派の広がりを見ても、未だ収まる兆しを見せていません。今は油断をせず、コロナ禍の特殊な環境でも研鑽を積み、得た経験を活かし更なる飛躍に向け「勇往邁進」致しますので、ご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

以上を持ちまして、新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和二年度 新成人代表 高木 悠太

本日は、私たちのためにこのような盛大な式典を開いていただき、また、ただいまは、心温まるお祝いのお言葉を頂き、誠にありがとうございます。

私たち令和3年新成人の成人式は、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止となる地域が多数ありました。しかし、吉田地区の皆様は温かいお心遣いのおかげで、こうして1年越しに、晴れの舞台である成人式に参加することができました。改めまして開催に携わって下さった全ての皆様に心より御礼申し上げます。

コロナ禍で先行きが不透明な中、私たちは成人の仲間入りをしました。これからの未来に不安を抱くこともあるでしょう。しかし、このふるさと吉田地区で過ごした思い出を胸に、大きく変動する世界や地域社会に創意をもって貢献できるよう、それぞれの立場で力強く未来を切り拓いていく所存です。いつも温かく見守ってくださる全ての方々へ感謝の気持ちを忘れず、日々邁進いたします。

どうぞより一層のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、これをもって新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和二年度 新成人代表 西村 理沙

令和3年度成人



成人式の挨拶の言葉

本日は私たちのために、このような盛大な会を催していただきまして、誠にありがとうございます。

又、皆様より温かいお祝いの言葉を頂きまして、ここからお礼申し上げます。

私達が本日、無事成人を迎えられたのも、今まで育てていただいた数多くの方々が存在があつてこそだと思えます。

成人を迎え、既に就職した人、勉学に励む人、様々な人達がいいます。大人の一人として配慮の持った行動、夢を叶える努力を怠らないで日々精進していきたいと思えます。

新型コロナウイルスが蔓延している今、大変な思いをされている方が数多くいると思いますが、これからも感染予防をして健康な日々をお過ごしください。

これをもって新成人の挨拶とさせていただきます。

令和三年度 新成人代表 前角 涼介

成人者誓いのことば

新型コロナウイルス感染症が拡大している中、成人を迎えました私達の為にこのような盛大な式典を催していただきまして誠にありがとうございます。

こうして無事に成人を迎えることができたのも家族、先生方、友人、地域の皆様が温かく見守り、支えてくださったおかげです。

立場はそれぞれですが社会の一員として責任のある行動をし、お世話になった方への感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきたいと思えます。これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、これをもって新成人の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

令和三年度 新成人代表 中山あげは



令和2年度

令和3年度

合同開催



福祉・保健部会

福祉委員会

一時間半の講義内容は、吉田地区が地名からも稲作が行われていたと推察できることや、準備された資料に基づいて、地区内広域に遺跡が散見される長野市内でも珍しい土地であること等をベースに展開されました。今講座では、テーマに沿ってわが吉田地区の指定文化財（数多くある中から）六カ所ほどの解説をしていただきました。

吉田地区文化財案内略図も、参考資料としていただきましたが、参加者の皆さんにとっても、ごく身近に多くの文化財があるということを知る機会となったのではないのでしょうか。

歴史散歩



<吉田地区の文化財案内略図>

七月二〇日（火）に、長野市元なまちづくり市政出前講座を活用し、長野市教育委員会文化財課専門主事の倉石さんを講師にお迎えしての歴史散歩講座となりました。

「吉田地区にある指定文化財」というテーマで、開講されまして、三〇名定員で募集のところ、当日は、ソーシャル・ディスタンス考慮の座席が予定通り埋まりました。



12月のクリスマス前に、男性の料理教室を開催しました。

講師牧野さんのご指導を仰ぎ、定員の12名でチキン料理、サラダ、デザートづくりに臨みました。まだまだ台所にディスタンスをとる参加者も少なくなく、講師の段取りに、ところどころで感嘆の声が上りました。実践に移ると、テーブルごとの進捗状況に微妙な進度の差が……。比較的手際も良く、また要領も良い方々は、予定時間をかなり残しての片付け、掃除まで一気という感じでした。途中講師から「慌てなくていいです。時間はありますから」と気遣いの声掛けをされているテーブルもありました。メニューは、オレンジ照り焼きチキン、生春巻き、レンジでオムレットの三品でした。

当日は実食が叶わず、持ち帰りとなりました。

男性の料理教室

お茶のみサロン

吉田東町区のふれあいサロン会が、一〇月二〇日に開催されました。事前に、対象者への訪問で状況確認の上、手紙を添えて参加の呼びかけを行い、一九名の参加となりました。進行の区切りで換気をしつつ、役員リードのハーモニカ伴奏で替歌を歌いました。大きな声は出せませんが、全員同一方向の、前向きでリズムを取りながらマスク下での唱（小）和をしました。

「気をつけて」との、訪問業者による詐欺事案についての注意喚起も挟んで、軽運動で心身をほぐした後に、弁当手渡しで解散となりました。久々の寄り合いに元気が溢れていました。



<吉田東町区>



<太田区>

十一月一七日にお茶のみサロンを開催したのは、太田区で、ミニ体操・読み聞かせ・紙芝居・歌と、プログラムは一時間の予定で流れ、お茶を手渡しで解散となりました。

サロン会が開催できる時には、参加者が楽しく過ごせることを、いつも心がけているとのこと。

今回の『おはなしコロコロ』の皆さんによる「寿限無」や「だんごどっこいしょ」の読み聞かせや紙芝居は、遥かに過ぎた時間が戻ったような温かく懐かしいものを感じられるひと時でした。参加者は、楽しかった場を惜しむように家路に着きました。

保健委員会

健康講座



ほぼ2年ぶりに健康講座運動講習会が開かれました。12月8日と寒さも厳しくなる時期でしたが、ノルテナがの多目的ホールに20名の方々が集まりました。講師清水さんの、はつらつとした掛け声に低い室温のことも忘れ、テンポ良くウォーミング・アップからタオルやウレタン棒を使った運動、休憩・換気を入れてのリズム・ステップへと続けました。

クール・ダウン前に、片頭痛マッサージや小顔マッサージの手ほどきがありまして、皆さん喰いつきぎみで、関心ありありの様子でした。



12月に続き、実質2回目の運動講習会が開催されました1月12日は、講師清水さん作成のマニュアル「スッキリ体操」を配布しました。これで自宅でも、ひとりでも軽運動ができるようにと、折りたたんで携帯ができるように工夫されています。そうした清水さんからの案内から始まり、ウレタン棒での運動、ラダー（はしご）を使っでの軽快なステップへと展開しました。1から8までのカウントで、ステップを考えながらリズム良くラダーを進むには、足元に合わせて頭も柔らかく反応できることが求められました。真剣みいっぱい、けれど笑いもこぼれる和んだ雰囲気となりました。



福祉懇談会

中越区でも、前向き一方向として座席が並び、十二月十一日に同区役員の出席を仰いで、ふれあいサロン会と併せて、地域福祉懇談会が開催されました。



<中越区>

始めに、物故者報告があり、黙祷を捧げました。その後場面を切り換えて、はつらつ健康体操と「爆笑！最新ライブ名演集」の上映で、身体と気持ちを解しました。その間に挟んで行われた懇談会では、避難行動要支援者の避難支援について区長からの説明があり、「理解の上、協力をお願いしたい」旨の話がありました。他にゴミ出しの課題、除雪の支援、土木・河川に関する市への要望等についての切実な発言がありました。

十二月一五日には、桐原区で、お茶のみサロンが開催されました。開催にあたり、新型コロナウイルス感染防止も含めて、夏以前から悩み通しの役員会が続いたとのこと。他地区を参考にして、向き合わずに同一方向でと、ミニ・コンサートの開催にこぎつけました。こちらでも参加者、役員それぞれが状況を確認し合い、気持ちがあぐれたところでの開会へ。

『長野合唱団 赤い鳥』の皆さんによる「春よ、来い」を夢をあきらめないで」の合唱に耳と心を傾けました。続く舞台は、衣装替えのメンバーでの民謡・踊り「こきりこ節」。脇では笛、さららの音も添えられた趣向凝らしたコンサートになりました。



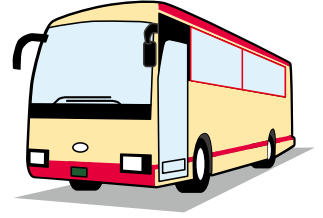
<桐原区>

長電バス「運動公園線」の増便を要望



吉田地区をほぼ縦断し、地域と市の中心部を結ぶ「運動公園線」は、高齢者の移動手段として貴重な路線ですが、昨年のダイヤ改正により、特に長野駅発午後便が大幅な減便となり、区民のみなさんから「不便だ」との声が寄せられました。

水内会長は、12月3日に長電バス本社を訪ね「午後便の増便を検討して欲しい」と要望しました。



長野吉田高校東の交差点のバリアフリー化進む

北長野地区ユニバーサルデザイン研究会 会長 返町洋三

2021年3月28日に、県道高田若槻線のSBC通り交差点から、北長野通り交差点までの約900mが供用開始となりました。それに伴い、長野吉田高校東交差点のバリアフリー化が進んでいます。

1 エスコートゾーンが出来ました

学生の頃、「目隠しをして真直ぐに歩いてごらん」と言われ、自分は真直ぐに歩いているつもりが、曲がってしまう経験がおりでしょう。視覚障がい者が交差点内を歩いている時、曲がってしまうため、横断歩道をはみ出してしまい、事故が発生しました。その対策として、横断歩道内に点字ブロックを設置し、まっすぐに歩けるようにしました。その点字ブロックのゾーンが、エスコートゾーンです。そのエスコートゾーンが長野吉田高校東交差点に設置されました。これは長野市では、県庁東の交差点、長野駅善光寺口の駅前交差点に続く3番目です。

2 シグナルエイドに対応

高齢者・障がい者が横断歩道を渡りきるには、歩行者の青信号の時間が短いという声があります。長野吉田高校東交差点に今は黄色いボックスの押しボタンですが、今年度中に白いボックスの押しボタンが設置されます。この白いボックスのボタンを押すと、歩行者の青信号の時間が、黄色のボタンを押したよりも長くなります。さらに、視覚障がい者は、ボタンの位置がわかりませんから、シグナルエイド（これは商品名・歩行時間延長信号機用小型送信機）という送信機を持って、シグナルエイドのボタンを押すと、遠隔操作で歩行者の青信号化や時間延長が出来るというものです。このシステムが、今年度中に設置されます。なお、黄色のボックスのボタンが先に押してある時にシグナルエイドのボタンを後から押しても時間の延長はできませんのでご注意ください。

皆さん、設備を上手に使って、事故を防ぎましょう。

これらの取り組みにご協力いただきました方々ありがとうございました。



編集後記

第44号をお届けいたします。新型コロナ感染防止のため、二十歳での成人を寿ぐ「成人式」の様子をお伝えする事が、昨年度はできませんでした。令和2年度と3年度の合同の式典が無事開催できました事は、今年の4月から成人年齢が18歳になる事からも、記念すべき誠におめでたい事であったと思います。

2年前の「自治協だより」は、6ページにわたる紙面に掲載記事満載でした。再び、紙面校正に苦慮する日が到来する事を祈るばかりです。閑話休題、編集後記の作成日は御嶽海が令和4年初場所の千秋楽に横綱照ノ富士を破り13勝2敗で優勝。大関昇進も掌中にした良き日でした。今後、更なる挑戦の先を期待すると共に、私達も日々挑戦する姿勢を堅持したいものと思います。

(編集委員会一同)